報告 Jr.

情報処理学会ジュニア会員インタビュー

どうして情報処理学会誌を読んでいるの？

畑田裕二（東京大学大学院 学際情報学府）

ジュニア会員と小・中学生の学会誌読者

情報処理学会には「ジュニア会員」という仕組みがあります．これは，若い世代の学生に情報処理学会のことをもっと知ってもらおうと始めたものです．主に高校生や大学生の会員を想定していましたが，ある日の編集会議で読者アンケートを見ていたところ，「小・中学生の中にも，この学会誌を読んでいる子がいるらしい」と話題になりました．彼らはどのように学会誌を読んでいるのか，情報処理にどんな興味を持っているのか？

編集委員が連絡をとったところ，3組のご家族が取材に応じてくれ，東京大学に遊びにきてくれました．今回は，学会誌を読んでいるという小・中学生のジュニア会員のインタビューをお届けします．

Q 情報処理学会誌を読みだしたきっかけは？

A 全員：親がジュニア会員の登録をして，会誌の存在を教えてくれた．

最初の質問の回答は，4人とも「親のすすめ」と同じ答えでした．和花ちゃん・春花ちゃん姉妹や祐貴くんの親御さんは，知り合いを通じて情報処理学会の「ジュニア会員」について知ったそうです．嘉月ちゃんのお父さんは「子どもが何に興味を持つか

答えてくれたジュニア会員紹介

神長和花ちゃん・小学校5年生（写真左），鏡嘉月ちゃん・小学校6年生（写真右）．神長春花ちゃん・小学校3年生（写真中央）は和花ちゃんの妹で，一緒にインタビューに参加してくれました．

潤間祐貴くん・中学校1年生

インタビュー当日の様子

分からないので，プログラミング教室などのイベントに参加させていた」と話してくれました．ジュニア会員制度や情報処理学会誌について，親御さんからは「ほかと比べてジュニア会員を募集していることが分かりやすい」「ジュニア会員は無料なので手を出しやすい」「表紙がイラストなので子どもがとっつきやすい」などの感想をいただきました．

Q 情報処理学会誌をどんな風に読んでいますか？

A 全員：必要なら親に説明してもらいつつ，分かるところだけ読む．全体的に難しくて分からない部分は多い．

「情報処理学会誌は，漢字や難しい言葉の解説があまりないので，読んで分からないところも多いです．でも，少しでも読めるところを見つけて読んでいます．分からない言葉はお父さんに解説してもらうこともあります」．

そう話してくれたのは小学5年生の和花ちゃん．学校ではパソコンクラブに所属しているそうですが，それでも学会誌で読んだ内容について一緒に話すことのできる友だちはあまりいないそうで，学会誌で読んだ話は家族内ですることが多いと言います．

和花ちゃんに印象に残っている記事について聞くと「ロボットのペットは死なない，という話が面白かったです」と答えてくれました．ロボットのペットは壊れない限り，電池が続く限り，ずっと動くことができます．飼い主である人間がペットよりも先に死ぬことが当たり前になるかもしれません．和花ちゃんは，飼い主が死んでしまったロボットのペットを，誰が世話することになるのか気になったそうです．

嘉月ちゃんも，親に分かりやすく説明してもらいながら，いくつかの記事を読むそうです．普段からスクラッチでプログラミングもしている彼女は，人工知能やロボットに関する記事を面白いと感じて読むのだと言います．

中学1年生の祐貴くんは，目次のタイトルを見て面白そうなものを読んでいました．2018年の内容では，「マッハ新書」の話が印象に残っているそうです．ただし彼もほかの3人と同じく，分かるところは分かるけれど，難しくて分からないところはまったく分からない様子でした．

「学会誌で紹介されている技術と，自分が具体的にどうかかわっているのか分からないから，あまり実感が湧かず興味を持てない部分があります．情報処理学会誌を読むことで，自分の生活や意識が変わったという感じもあまりないです」．

祐貴くんはそう教えてくれました．

全体的な印象として，ジュニア会員制度は設けられているものの，学会誌の内容に関して，ジュニア会員に対しての配慮がまだまだ不十分．筆者はそのように感じました．情報処理学会誌の編集委員会では，ジュニア会員向けの内容を増やしていきたいという話がよく挙がります．ジュニア会員のみんな，乞うご期待です！

Q 普段の生活について教えてください．

小・中学生のときから学会誌を手に取っている彼らは，普段どんな生活をしているのでしょうか？

嘉月ちゃんは，スクラッチを使ってゲームを作るのが好き．「プログラミングは，自分の思った通りに動いてくれるところが面白いです」と語ります．情報処理学会が開いているジュニア会員向けのプログラミング教室にも，何度か参加してくれていました（図 -1）．ただ，プログラミングだけが好きなわけではありません．学校では理科の実験に面白さを感じているとのこと．また運動が好きで「中学校ではテニス部に入りたい」と話していました．習い事では，茶道をやっているそうです．

「家族全員，本を読むのが好きです．私は特に伝記をよく読んでいます」と話すのは春花ちゃん．姉の和花ちゃんも同様，姉妹そろって日常的に読書をしているそうです．また 2 人ともピアノと茶道を習っています．茶道はお母さんの影響なのだとか．小学校 5 年生の和花ちゃんは，学校の授業でやったことがきっかけで，ディベートが好きになったと言います．

2 人とも，プログラミングを日常的にやっているわけではありませんが，時々お父さんが買ってきてくれるプログラミングの本を読んで，パソコンに触れたりすることはあるそうです．また和花ちゃんは妹の春花ちゃんと一緒に，お父さんに見てもらいながら，学会誌のプログラミング特集の中にあったサンプルコードを「写経」したことを教えてくれました．ランダムな画像が時間とともに写真に近づいていくプログラムを手で打ち込んで，学校に行く前に実行．学校から帰ってきたらきちんと動作していたときは感動したそうです．

図 -1　嘉月ちゃんの作品（情報処理学会主催のジュニア会員向けプログラミング教室にて）

小学校 1 年生のころから「公文式」の教室に通っている祐貴くんは，数学（特に関数の分野）が好き．持ち寄った数学の問題を友だちと一緒に考えることもあるそうです．一方で情報処理に関する分野には取り立てて強い関心は持っておらず，パソコンはレポートの執筆に使う程度．スマートフォンでも軽くゲームをする程度で，SNS もやっていないと言います．それから，中国の古いお話が好きで，かつて三国志・水滸伝・西遊記などを読みあさったこともあるそうです．将来は田舎でのんびりとした生活を送りたいと言っていました．

どの子も，情報処理やプログラミングだけに強い興味を持っているというわけではなく，いろいろなものに好奇心を持っているその一部として，情報処理やプログラミングにも関心があるという印象でした．

Q 情報処理学会誌で読みたいこと，先生に教えてほしいことはありますか？

インタビューに答えてくれたジュニア会員からは，それぞれ次のようなコメントをもらいました．

和花ちゃん：機械はなぜエラーを起こすのですか？そして寿命がくると機械の誤動作が多くなる理由も知りたいです．

春花ちゃん：身の回りにあって当たり前のように使っているけれど，その仕組みをまったく知らないものが多いと感じます．今は Wi-Fi の仕組みが気

になります．

嘉月ちゃん：スクラッチのプログラミングが楽しいので，プログラミングに関する記事が読みたいです．そして，そもそもスクラッチがどういう仕組みで動いているのかにも興味があります．

祐貴くん：プログラミングができるようになると何がよいのですか？　できなくても生活があまり困っていないのに，「必要以上に」IT 機器を知ったり使いこなしたりすることの価値が分かりません．

さて情報処理学会誌では，このような疑問に答えるのにうってつけの連載，「先生，質問です！」というコーナーがあります[☆1]．ここでは，主に学生読者から寄せられた素朴な（あるいはクリティカルな）質問に，複数人の経験豊富な先生がそれぞれの立場から回答してくれます．

これに加えて，来たる 2019 年 3 月 14 日～ 16 日に福岡で行われる「情報処理学会 第 81 回全国大会」では，この「先生質問です！」の公開セッションが企画されています[☆2]．大会の会場で「先生，質問です！」のライブをやろうというセッションです．事前に寄せられた質問だけでなく，当日もらった質問にも答えていきます．小・中・高校生をはじめとする若い世代の人も楽しめる内容です．オンラインでの配信も行うつもりなので，当日会場に来られない場合は，どうぞそちらをご覧ください．皆さんからの質問をお待ちしています！

最後に，改めてインタビューに協力してくださった皆さんに感謝します．本当にありがとうございました．

（2018 年 12 月 21 日受付）

☆1　https://www.ipsj.or.jp/magazine/sensei-q.html

☆2　https://www.gakkai-web.net/gakkai/ipsj/81/event/html/event/A-4.html

畑田裕二（正会員）yuno.lv3@gmail.com

東京大学工学部 電子情報工学科を卒業．現在，東京大学大学院 学際情報学府 廣瀬・谷川・鳴海研究室 修士 1 年．バーチャルリアリティなどの研究に従事．VR ニュースメディア Mogura VR のライター．本会学生編集委員（NWG）．

ジュニア会員登録をお勧めください

興味を持っていただけそうな方にはぜひお声がけください．
学会のコンテンツに触れてもらうことが，本会の発展だけでなく，さまざまな学問への扉となり，ご本人のステップアップになればと考えています．会費は無料ですので気軽に登録していただけます．

参加資格　学生であればどなたでも ※1

【特典】
・創刊号から最新号まですべての「情報処理」（月刊）を電子図書館で閲覧できます．
・その他の電子図書館に掲載されている有料論文をすべて無料閲覧できます．
・イベント参加費は基本的に無料で参加できます※2
・すべての研究発表会へ原則無料で参加できます．

※1　小中高校生の方は保護者の同意が必要です．
※2　イベントによっては参加できない場合があります．
　　また場合によってジュニア会員価格のイベントもありますので必ずイベントの案内サイトをご確認ください．

詳しくは「ジュニア会員とは」のページをご覧ください．
https://www.ipsj.or.jp/member/junior.html#jn02

ジュニア会員のページ：https://www.ipsj.or.jp/junior/　ipsj ジュニア　検索